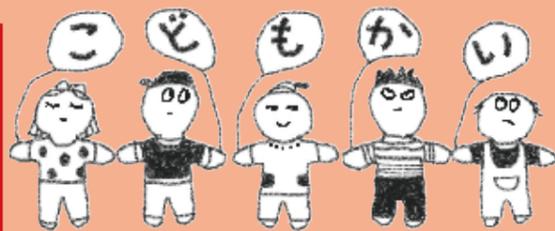


子ども会に聞く



*団地内の子ども会・・・
「子育協」に加盟していない

子どもが少なくなり、世話人が毎年同じ人になって子ども会の継続が難しくなりましたが、有志が立ち上がり会を続けています。

団地の管理費から補助金が出ているので、未就学児から手伝いをしてくれる中学生を含めて20～30名でイベントなどを開催しています。夏祭りに参加し、団地全体でにぎやかに楽しんでいます。昨年のクリスマス会は団地の「子ども文庫」といっしょに行いました。



*少人数の子ども会・・・
「子育協」に加盟している

年々子どもの数が減ってきて、子ども会の収入源であった資源回収が今年からできなくなりました。ほとんどの家庭が共働きなので、役員をするのが無理になってきました。土・日はのんびりと家族で過ごしたい家庭や、習い事で忙しい子どもたちもいて、子ども会に入らない家庭も多いです。

それでも役員の人たちは、会の集まりで子どもたちが楽しそうにしているのを見ると、自分たちも楽しいと感じます。地域で子ども会をサポートできればいいと思っています。



*30人以上の会員がいる子ども会・・・
「子育協」に加盟している

新入生歓迎会、夏のお楽しみ会(工場見学など)、ハロウィン、六年生を送る会(ボーリング大会など)。今のところは順調にイベントを楽しむことができます。会に入らない人もいれば、遠くの地区から入りたいという人もいます。

「子育協」からの補助金は有難いのですが、毎年春(平日)に開催される説明会・講習会などに出席することが、仕事を持っている役員には負担になっているということでした。

現在、小平市内には39の「子ども会」が「子育協」に加盟しているようですが、その中には子どもの減少などで休止状態のところもあります。それだけではなく、共働きで忙しい親は「子ども会」の活動に参加できないので子どもも入ることができません。

また、「子育協」に登録するための説明会・研修会・情報交換会などのために、仕事を休めないという親もいます。そのあたりにも問題がありそうです。

ごく一部の子ども会に聞いているので、全体像は見えませんが、それぞれの子ども会は子ども達のために地域の人たちと親たちによって運営されています。(A)



あづま町子ども会

あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介
こんな活動をしています

Vol. 27

取材を希望する団体はあすぴあまでお知らせください。広報部会の部員が伺います!



WAKATAKE MARCHÉ (わかたけマルシェ)

あすぴあ「こだいら人財の森 地域デビューパーティ」に出店して下さった「わかたけマルシェ」さん。その楽しそうな様子に、どんな活動をしているグループなのだろうか、と4月20日(土)取材に伺いました。

今回の会場は、小平駅南口のこだいら駅前ショッピングセンター2階。「Happy Easter ~wakatake Easter Party~」と題して、楽しいお店がたくさん開店していました。お話を伺ったのは、代表の大橋さんです。

わかたけマルシェは、その名のとおり若竹幼稚園のママたちがはじめたグループ。2016年に、手作りの好きな人たちが集まってハンドメイドのイベントをしたのがきっかけのこと。今回で1回目だそうです。

口コミで友達から友達へと伝わって、出店参加する人が増え、現在は60人ぐらい。発足時には、年数回ぐらいの開催を考えていたけれど、あちこちから「きてくれませんか」「いっしょにやりませんか」などのお声がかかって、去年は7回の開催となったそうです。

開催場所は、若竹幼稚園を中心に半径2kmぐらいに決めているとのこと。回ごとに工夫をこらし、ベビー対象、キッズ向け、大人向けや、ワークショップ中心、

手作り品販売中心にとか、会場にあった工夫をしているとのこと。

特に会則・会費など決まりごとはつくらず、「自分たちもたのしく」というのが趣旨のようです。

今回は、8月1日(木)10時30分～15時30分、ルネこだいらのレセプションホールで予定しているそうです。覗いてみてはいかがでしょうか?「7月にも予定していることがあって……」とおっしゃっていましたから、関心のある方はブログをチェック!! (伊)

DATA

連絡先●rubanlapin2016@gmail.com (大橋)
ブログ●http://ameblo.jp/ruban16/

使い方の説明も
手作り
≡



NPO法人 幸齢社会づくり協会

健康で生き生きと暮らせる社会づくりを目指して、ゴルフ場の環境整備をしている団体に話を聞きました。



≡ 活動の前に自己紹介



≡ 1箱20kgもあるボール箱を運ぶ



≡ 穴に土を施すのも大事な仕事

幸齢社会づくり協会の事務局長の中村真一さんは、10年ぐらい前、定年退職した直後、茨城県のゴルフ場に行ったとき、芝生の手入れが充分でないことに気づいて、「ゴルフ場をきれいにする作業、しましょうか?」とスタッフに言ったところ、いい返事が返って来たそうです。そこで中村さんがゴルフ仲間と始めたのが幸齢社会づくり協会の活動です。

茨城県にあるゴルフ場と交渉して、ゴルフ場の環境整備をボランティアでやりながら安価でゴルフを楽しむ活動を始めたところ、中村さんたちは楽しくてやめられなくなったそうです。というのも、定年退職後の生き方が見つかったからです。会員の一人は「家内を亡くしてから参加しましたが、生きることに張り合いが持てるようになりました。ありがとうございました。」とっています。

その後、同じ活動をする高齢者は、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、神奈川県、山梨県、静岡県に広まり、さらに愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、兵庫県、岡

広々としたゴルフ場で ≡
気分爽快

山県、福岡県、佐賀県、熊本県にも広まって、現在、



118のグループで、1,559人の会員が活動しています。小平にも支部があり、中村さんがまとめています。

会員に喜ばれ、会員が増えている理由はもう一つ、グループをまとめる世話人が会員に指示や命令をしないことです。具体的な活動の内容は、みんなで話し合っで決めていますし、活動への参加を強制することはありません。みんな自由に行動できるのです。だから、活動は楽しくて、生活に欠かせないものになっているのです。

幸齢社会づくり協会のもう一つの活動である、心身の健康づくり、仲間づくり、活力ある生活づくりを学ぶ講演会は年2回行っていますし、グループの世話人が集まる「全国代表お世話会議」も年2回行っていますが、どれも楽しくやっているそうです。(北)

DATA

問い合わせ・連絡先●080-1181-3460 (担当 中村)